



# 出雲崎中学校だより

＜第3号＞

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和4年7月22日発行

## 「教育に新聞を」～NIE(Newspaper in Education)の取組～

出雲崎中学校は、新潟県・新潟市教育委員会や県内の教育機関、新聞各社等で組織する「新潟県NIE推進協議会」から、令和4・5年度の「NIE実践・研究委嘱校」に選出されました。「NIE」とは、「新聞活用教育＝Newspaper in Education」の略称です。これは、子どもたちの読解力の低下や文字・活字離れが心配される中で、社会の今を捉え、多様な考え方が示される新聞を教材として活用し、学校教育に役立てていこうという取組です。1930年代のアメリカで始まり、現在でも多くの国で「民主主義を支え、よりよい市民を作る」上で有効な取組と考えられ、実施されています。出雲崎中学校では、「社会問題に興味・関心をもち、自分事として捉え、考えを表現できる生徒」「互いに感じたことや考えたことを伝え合い、考えを深められる生徒」を目指す姿とし、この取組を進めていきます。

### 職員研修

NIEを実践するにあたって、まずは職員が新聞の特性や構成等について理解を深めていきたいと考え、6月2日(木)に新潟日報社読者局未来読者推進室長の\_\_\_\_\_様を講師にお招きし、職員研修を行いました。\_\_\_\_\_様のお話から、新聞社の方々が強い使命感や熱意をもって仕事をされていること、新聞は取材によって事実を積み上げ、私たちに正確な情報を伝えていることを再認識することができました。また、現在は子供たちだけでなく、大人もインターネットの情報に依存しがちなところがありますが、事実に基づいて論理的に構成された新聞記事を読み込むことによって、社会を正しく捉えるとともに、自らの思考を深め、表現力を高めることにもつながるといことがよくわかりました。今回、「新聞は、見出しを読むだけでも、記事を途中まで読むだけでも、そこに考えるヒントが含まれている」という説明がありました。NIEの実践を通して、我々職員も、生徒と一緒に学んでいきたいと決意を新たにすることができました。



### 1年生出前授業

1年生は、6月14日(火)に新潟日報社読者局参与の\_\_\_\_\_を講師にお招きし、NIE出前授業を行いました。今回は、「新聞の読み方・記事の書き方」という内容で、新聞の基礎的な知識や他者にわかりやすく伝える記事の書き方等について、一つ一つ丁寧に教えていただきました。木村様からは、当日の新聞を全員に1部ずつ配付していただきました。普段、新聞を読む習慣がない生徒もいるようで、それぞれが手にした新聞に興味深く眺めながら、木村様のお話に耳を傾けていました。1年生は今後、総合的な学習の時間に体験したことを、各自が新聞を制作するという形でまとめていく予定です。



授業後の生徒の振り返りを紹介します。

- ◇これまで、新聞記事の内容などをあまりよく見たことがなかったけれど、今回の授業で、見出しの大切さ、新聞が出来上がるまでの作業の大変さがわかりました。
- ◇新聞を作るのは難しく、大変なのだと思います。例えば、間違っただけの情報を入れないよう取材などに丁寧に取り組んでいることがよくわかりました。
- ◇新聞を作るにはいろいろなことを考えなくてはいけないということを知りました。「意見」と「事実」を上手く使って、いい新聞を作ることができるようになりたいと思います。



## 2年生出前授業

2年生は、6月28日(火)に新潟日報社柏崎総局長の\_\_\_\_\_様を講師にお招きし、NIE出前授業を行いました。2年生は現在、「地域で働く人々の姿から、職業生活、社会生活に必要な知識、技術、技能の習得への理解を深めよう」という課題で総合学習に取り組んでいます。8月には職場体験学習を計画しており、体験先で事業所の方に聞き取り調査を行い、その内容をまとめて発表会を行う予定です。そこで今回は、「新聞記事の構成やインタビューの仕方について」という内容で、\_\_\_\_\_様から講義をしていただくとともに、生徒一人一人が実際に「新聞記者」という職業についてインタビューをするという活動を行いました。\_\_\_\_\_様からも、当日の新聞を全員に1部ずつ配付していただき、実際に新聞を見ながら新聞に関する基礎知識や取材方法等についてわかりやすく教えていただきました。\_\_\_\_\_様から「取材は2問目の質問が大事」というお話を聞き、生徒は事前に用意した質問とともに、1問目の回答につながる追加質問を苦勞して絞り出し、インタビューに臨んでいました。

授業後の生徒の振り返りを紹介します。

- ◇今日のお話を聞いて、職業はとても奥深いものだと思います。実際に、新聞記者の大変さややりがい、必要な力などを聞くと、タブレットで調べたものとは違った、想像以上のものがありました。きっと他の職業も、自分が考えている以上の奥深さがあるのだろうと思いました。
- ◇今日の学習を通して、何事にも事前準備が大切であるということが分かりました。今回も、新聞記者という職業について事前に調べ、知識を得るという準備がなければ、理解しにくいところもあっただろうと考えると、改めてその大切さを実感することができました。
- ◇インタビューをする時には「雑談の引き出しをつくっておくといい」ということを教えていただいて、いろいろな知識を得るためにも新聞は大切だと思いました。「見出しだけでも読むと内容が分かる」とおっしゃっていたので、心掛けていきたいと思いました。



## 朝の新聞TIME～セレクト新聞記事～

現在、県NIE推進協議会事務局の配慮で、出雲崎中学校に毎日数社の新聞が届いています。この新聞を有効活用するために、各教室に1部ずつ配置し、生徒が新聞に親しむ機会を設けています。朝読書の時間、各教室で当番の生徒が毎日1人ずつ順番に新聞を読み、気になった記事を切り抜いて紹介するという活動を行っています。当番の生徒は、切り抜いた記事についてのコメントを付箋に書き、記事とともに生徒玄関前に掲示します。今年度の総合学習の課題を意識して、1年生は「新潟県のまち・イベント・環境問題」に関する記事、2年生は「職業・働く人」についての記事、3年生は「出雲崎町の“まちづくり”」の参考になる記事を探し、コメントを書いています。登下校時や休み時間に、同級生や先輩・後輩の「セレクト新聞記事」やコメントが書かれた付箋を眺める姿が見られます。生徒が新聞に親しむとともに、仲間と情報を共有する機会に、また総合学習の課題に関する情報・資料収集の機会になればと考えています。さらに、一人一人が課題解決に必要な情報を選択、分析、整理する力を養うことができればと期待しています。



生徒玄関から各教室に向かう廊下の一角に、国語科の\_\_\_\_\_教頭が日替わりで「セレクト新聞記事」を掲示しています。記事の内容をわかりやすく簡潔に解説するとともに、いくつかの選択肢を設け、生徒や職員が自分の考えをマグネットを貼って表明することができるようにしてあります。NIEの実践を通して、生徒が積極的に活字に触れ、社会の様々な事象に目を向け、自分事として思いを巡らせることを期待しています。